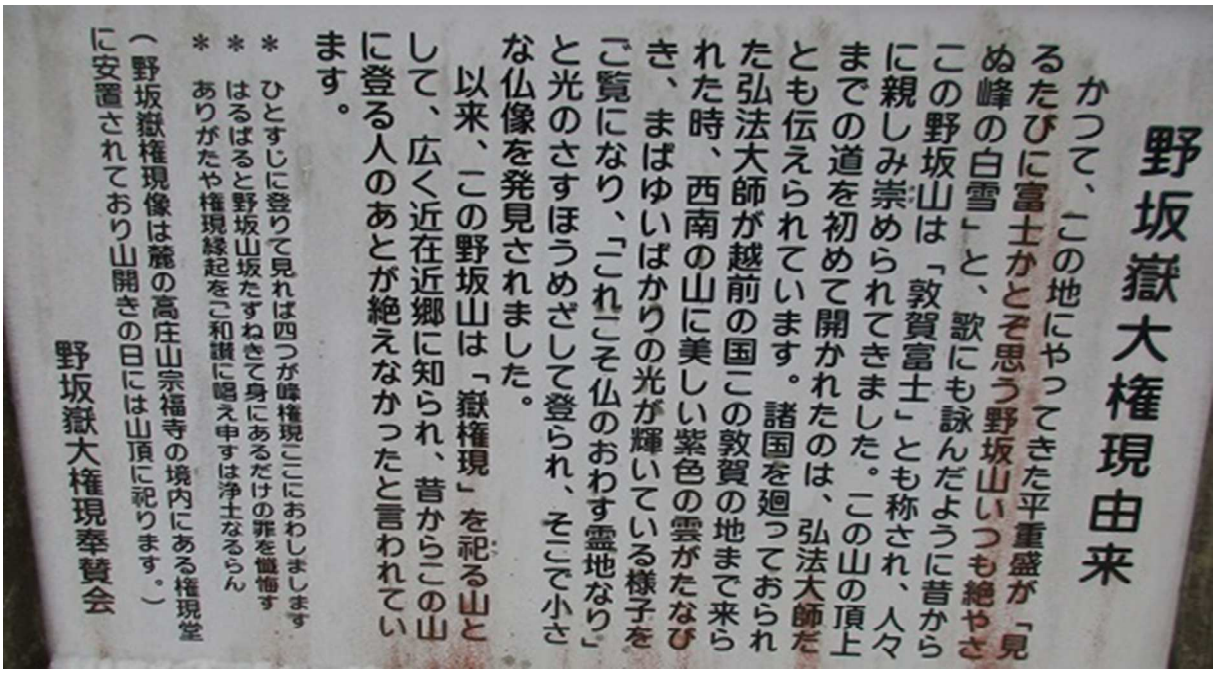
2019,1,27

スノーシュー　野坂岳

「昨夜の雪で雪質はよく、お天気も良い、絶好のトレッキング日和ね・・」「風も無く穏やかな日。良い日になったね」「お天気予報によると荒れる・・」といわれていた。前夜の予報では、「お昼には晴れるとのことでした」など談笑しながら出発。山頂付近になると寒くなり、避難小屋では、氷点下１度。山頂での記念撮影では、手が凍えてカメラの操作が上手くできないほどでした。野坂岳の魅力は、ブナ原生林が素晴らしい。今日も雪化粧した樹林をたっぷり楽しませていただきました。眺望もまるで山水画のように綺麗で、この時期ならではの自然を満喫しました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史



野坂嶽大権現由来

かつて、この地にやってきた平重盛が「見るたびに富士かとぞ思う野坂山いつも絶やさぬ峰の白雪」と、歌にも詠んだように昔からこの野坂山は「敦賀富士」とも称され、人々に親しみ崇められてきました。この山の頂上までの道を初めて開かれたのは、弘法大師だとも伝えられています。諸国を廻っておられた弘法大師が越前の国この敦賀の地まで来られた時、西南の山に美しい紫色の雲がたなびき、まばゆいばかりの光が輝いている様子をご覧になり、「これこそ仏のおわす霊地なり」と光のさすほうめざして登られ、そこで小さな仏像を発見されました。

以来、この野坂山は「嶽権現」を祀る山として、広く近在近郷に知られ、昔からこの山に登る人のあとが絶えなかったと言われています。

＊　ひとすじに登りて見れば四つが峰権現ここにおわしまします
＊　はるばると野坂山坂たずねきて身にあるだけの罪を懺悔す
＊　ありがたや権現縁起をご和讃に唱え申すは浄土なるらん

（野坂嶽権現像は麓の高庄山宗福寺の境内にある権現堂に安置されており山開きの日には山頂に祀ります。）

野坂嶽大権現奉賛会

◆トレッキング記録

栃の木地蔵さんで

眺望

樹林を行く①

②

③

④

⑤

⑥

⑦　⑧　⑨　⑩

ブナ原生林①　②　③　④

⑤　⑥　⑦　⑧

⑨ブナ原生林にて記念撮影　⑩　⑪　山頂までもうすぐ

野坂岳山頂